

ワークショップ&祭り

“みんな”の祭りを つくって遊ぼう



9/27

土曜日

10/19

日曜日

11/1

土曜日

参加者
募集!

障害のある人と共に 表現でひらく学びと実践

障害のあるなしに関わらず、“みんな”で参加できる
「“みんな”の祭り」を考えて作り、実際に小さな祭りを実践してみます。
ワークショップを開催し、11月1日に“みんな”の祭り当日を迎えます。
祭りを一緒に作ってみたい方、是非ご参加ください。



ワークショップ

1. 歩く “みんな”の祭りの場所を歩いてみよう!

9/27(土) 14:00 - 15:30

会場 まちなかキャンパスうえだ

定員 15名 参加費 無料



申し込み

祭りの道具や楽器を持って、11/1の祭りの会場のひとつ、海野町商店街を実際に歩いてみながら、どんな祭りだったら“みんな”で参加できそうか、アイデアを出し合います。

進行：伊藤茶色（犀の角 / 草の根文化芸術コーディネーター）、
藤原佳奈（戯曲作家・演出家）

2. 作る “みんな”の祭りの幟(のぼり)を作ろう!

10/19(日) 13:30 - 15:30

会場 上田市立美術館 子どもアトリエ

定員 15名 参加費 500円(材料費込)



申し込み

この日は、別所温泉で500年以上続く祭り「岳の幟」を参考にした“みんな”の祭りオリジナルの幟を作ります。好きな色や素材を選んでそれぞれの幟を作り、祭り当日のイメージをふくらませてみましょう。

進行：ヒョウチ（リベルテの優しい宇宙人スタッフ）、
藤原佳奈（戯曲作家・演出家）

共催：上田市立美術館 子どもアトリエ

祭り

“みんな”の祭り

11/1(土) 時間未定

会場 海野町商店街など

いよいよ
当日!

祭りの最新情報は、NPO法人リベルテのSNSにてお知らせします。

@npoliberte

@npoliberte



この取り組みについて

誰もが参加できる「祭り」づくりを通して、地域に関わり合い、生涯学習の場をひらく

共に学ぶことが地域を変える

上田の地で障害のある人の福祉事業と文化事業を2013年から行ってきたNPO法人リベルテは、障害のある人と地域社会との関わりを広げてきました。2024年度はLearn by Creation NAGANOと連携し、障害の有無を問わず人々がともに学び合える環境づくりに挑戦しています。学びとは、自分とは異なる他者と出会い、関心や感覚が広がっていく過程です。

たとえば「はじめて居酒屋に行く」「銭湯に行く」「外泊する」「通勤路を歩き直す」など、福祉や文化の現場で生まれた体験は、一人ひとりの文脈や感情に根ざした、かけがえのない学びです。

障害を個人の属性とする構造や、支援者―被支援者という前提を問い直し、同じ場で共に経験することを通して立ち上がってくる「障害」を学び直す。そのような体験の一滴が、日常に波紋を起こし、私たちのコモンズ（集う・共有する空間）を更新していくと考えています。

「祭り」を通じて“わたしたち”を編み直す

今年度は「祭りづくり」をテーマに、障害のある人と共に数回のワークショップを予定しています。祭りは、祈りや願いを表すとともに、地域の人々が出会い直す場でもあります。とくに障害のある人が最初から関わることで、より多くの祈りを受け止める祭りとなり、地域に根づく文化として育っていく可能性があります。

一つのゴールとして11月1日の「祭り」当日と、リサーチやワークショップ、勉強会などを映像や写真記録を取りアーカイブ映像としてまとめ、2月に上映する予定です。そこでは来年度以降の活動について議論し、障害のある人が生涯学習として、地域の福祉施設や公共施設のようなハード面だけでなく出会いや機会のようなソフト面にも、フォーマル／インフォーマルにアクセスしていける環境を広げていくことを目指します。